

## 2008年1～3月期GDP統計予測

～前期比+0.5%。外需に支えられてプラス成長維持～

### (1) 3四半期連続のプラス成長

2008年1～3月期の実質GDP成長率は前期比+0.5%（年率+2.1%）と、3四半期連続のプラス成長となった見込み。設備投資の減少、個人消費の低空飛行など内需に力強さはみられないものの、①外需寄与度が一段と高まったこと、②住宅投資の大幅減少に歯止めがかかったこと、の2点が原因。

### (2) 需要項目の特徴

#### イ) 個人消費（前期比+0.3%、年率+1.2%）

緩やかなペースでの増勢が持続。所得環境が低迷しているほか、物価にも上昇圧力が強まっているものの（個人消費デフレーターは約10年ぶりに前年比プラスに）、教養娯楽関連支出が下支え。

#### ロ) 住宅投資（前期比+2.2%、年率+9.0%）

住宅着工の持ち直しの動きを反映して、5四半期ぶりの増加。もっとも、水準でみると、建築基準法改正前（2006年度平均）に比べ2割程度低いレベル。

#### ハ) 設備投資（前期比▲2.2%、年率▲8.4%）

3四半期ぶりの減少。欧米経済の先行き不透明感の強まり、原材料価格の高騰による収益悪化などを背景に、製造業で大幅に減少。

#### ニ) 政府支出

政府消費は、10～12月期の大幅増の反動から減少へ。公共投資は減少が一段落。

#### ホ) 輸出（前期比+5.3%、年率+23.2%）

12四半期連続の増加で、増勢が一段と加速。米国向けの低迷が続き、アジア向けも増勢は鈍化傾向にあるものの、中東・ロシアなど資源国向けの伸びが拡大。

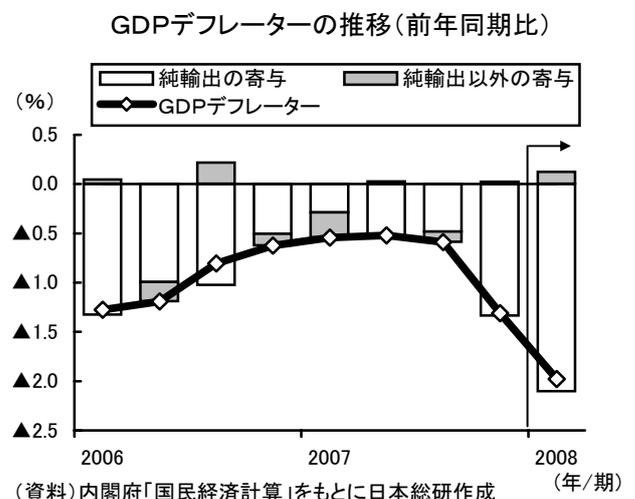
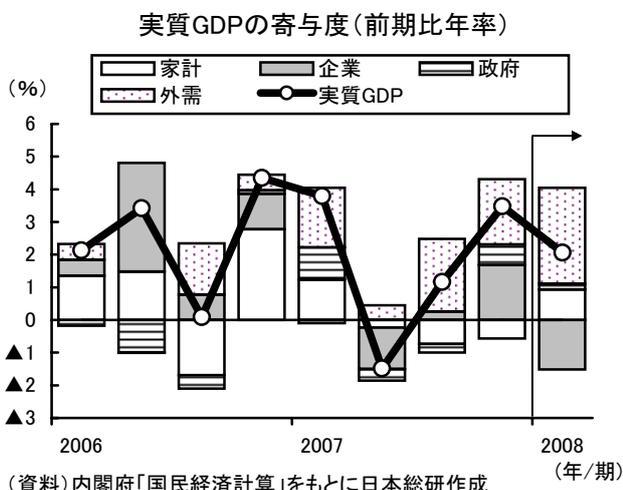
#### ヘ) 輸入（前期比+1.9%、年率+7.7%）

2四半期連続の増加。財の輸入は低迷が続いたものの、サービスの輸入が増加したことが主因。

### (3) プラス成長の評価

内外経済に不透明感が強まるなかでのプラス成長は、わが国経済の底堅さを示す明るい材料。しかしながら、名目成長率が前期比・前年比ともマイナスに転じるとみられる点には注意が必要。これは、原材料価格の高騰により輸入支払額が増加するなか、最終製品・サービス価格への転嫁が困難なため、国内で生み出される付加価値が減少していることを意味。この結果、企業収益に強い下振れ圧力ががかかっており、「企業収益→雇用者所得・設備投資」という循環メカニズムはむしろ弱まっている状況。当面、名目成長率の下振れがわが国経済における最大のリスク要因。

（4月23日公表のリサーチ・アイ「輸入物価上昇のインパクト～海外への所得移転が拡大」もご参照ください）



## GDP統計予測表&lt;2008年4月30日時点の公表系列をもとに作成&gt;

## ■ 前期比

(%, 十億円)

	実質GDP													名目GDP	デフレーター	
	内需								外需							
	民間				官公需				輸出			輸入				
	個人消費	住宅投資	設備投資	民間在庫	政府消費	公共投資	公的在庫	輸出	輸入							
2007/ 1~3	0.9	0.5	0.4	0.6	▲ 1.3	▲ 0.5	258.0	1.0	0.2	5.2	▲ 74.4	2273.5	3.5	1.0	0.7	▲ 0.3
4~6	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.5	0.2	▲ 4.4	▲ 1.6	▲ 371.4	▲ 0.4	0.3	▲ 4.1	117.8	632.1	1.1	0.5	▲ 0.5	▲ 0.1
7~9	0.3	▲ 0.2	▲ 0.2	0.1	▲ 8.3	0.9	▲ 454.7	▲ 0.3	0.1	▲ 1.9	▲ 101.1	2590.1	2.9	▲ 0.1	0.0	▲ 0.2
10~12	0.9	0.4	0.4	0.2	▲ 9.3	2.0	566.4	0.7	0.9	▲ 0.4	73.8	2440.9	3.1	0.6	0.2	▲ 0.7
2008/ 1~3	0.5	▲ 0.2	▲ 0.2	0.3	2.2	▲ 2.2	▲ 259.9	0.1	▲ 0.5	3.4	▲ 109.1	3733.1	5.3	1.9	▲ 0.2	▲ 0.7

## ■ 前期比年率

(%, 十億円)

2007/ 1~3	3.8	2.0	1.5	2.5	▲ 5.0	▲ 1.8	—	4.2	0.8	22.4	—	—	14.8	4.1	2.7	▲ 1.0
4~6	▲ 1.5	▲ 1.9	▲ 2.0	0.6	▲ 16.4	▲ 6.4	—	▲ 1.7	1.2	▲ 15.5	—	—	4.6	2.1	▲ 2.0	▲ 0.5
7~9	1.2	▲ 0.8	▲ 0.7	0.6	▲ 29.4	3.7	—	▲ 1.2	0.6	▲ 7.5	—	—	12.2	▲ 0.5	0.2	▲ 1.0
10~12	3.5	1.7	1.4	0.9	▲ 32.3	8.1	—	2.9	3.6	▲ 1.7	—	—	13.2	2.2	0.8	▲ 2.6
2008/ 1~3	2.1	▲ 0.6	▲ 0.9	1.2	9.0	▲ 8.4	—	0.5	▲ 1.8	14.4	—	—	23.2	7.7	▲ 0.7	▲ 2.7

## ■ 前年同期比

(%, 十億円)

2007/ 1~3	3.0	2.3	3.1	1.7	▲ 1.0	7.3	223.4	▲ 0.4	0.8	▲ 4.3	▲ 32.9	1174.2	7.5	2.0	2.5	▲ 0.5
4~6	1.7	0.7	0.8	1.1	▲ 2.8	0.3	45.1	0.2	0.5	▲ 2.3	17.0	1311.9	7.8	1.5	1.2	▲ 0.5
7~9	1.7	0.5	0.6	1.6	▲ 11.5	0.5	▲ 184.4	0.3	0.4	0.0	▲ 15.0	1535.1	8.6	1.5	1.1	▲ 0.6
10~12	2.0	0.5	0.4	1.3	▲ 21.7	0.9	216.1	0.9	1.5	▲ 1.4	10.7	2067.7	11.2	1.9	0.7	▲ 1.3
2008/ 1~3	1.6	▲ 0.4	▲ 0.5	0.8	▲ 18.7	▲ 0.9	▲ 108.8	0.2	0.9	▲ 2.3	▲ 7.9	2290.2	13.0	2.9	▲ 0.4	▲ 2.0

## ■ 前期比・寄与度

(%)

2007/ 1~3	0.9	0.5	0.3	0.4	▲ 0.0	▲ 0.1	0.0	0.2	0.0	0.2	▲ 0.0	0.4	0.6	▲ 0.2	—	—
4~6	▲ 0.4	▲ 0.5	▲ 0.4	0.1	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.1	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	0.0	0.1	0.2	▲ 0.1	—	—
7~9	0.3	▲ 0.2	▲ 0.1	0.1	▲ 0.3	0.1	▲ 0.1	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	▲ 0.0	0.5	0.5	0.0	—	—
10~12	0.9	0.4	0.3	0.1	▲ 0.3	0.3	0.1	0.1	0.2	▲ 0.0	0.0	0.4	0.6	▲ 0.1	—	—
2008/ 1~3	0.5	▲ 0.1	▲ 0.2	0.2	0.1	▲ 0.3	▲ 0.0	0.0	▲ 0.1	0.1	▲ 0.0	0.7	1.0	▲ 0.3	—	—

## ■ 前期比年率・寄与度

(%)

2007/ 1~3	3.8	2.0	1.1	1.4	▲ 0.2	▲ 0.3	0.2	0.9	0.1	0.9	▲ 0.1	1.6	2.4	▲ 0.6	—	—
4~6	▲ 1.5	▲ 1.9	▲ 1.5	0.4	▲ 0.6	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.3	0.2	▲ 0.7	0.1	0.5	0.8	▲ 0.3	—	—
7~9	1.2	▲ 0.8	▲ 0.5	0.3	▲ 1.0	0.6	▲ 0.3	▲ 0.3	0.1	▲ 0.3	▲ 0.1	1.9	2.1	0.1	—	—
10~12	3.5	1.7	1.0	0.5	▲ 1.1	1.3	0.4	0.6	0.6	▲ 0.1	0.1	1.8	2.4	▲ 0.4	—	—
2008/ 1~3	2.1	▲ 0.6	▲ 0.7	0.7	0.3	▲ 1.3	▲ 0.2	0.1	▲ 0.3	0.6	▲ 0.1	2.7	4.2	▲ 1.3	—	—

## ■ 前年同期比・寄与度

(%)

2007/ 1~3	3.0	2.2	2.3	1.0	▲ 0.0	1.3	0.2	▲ 0.1	0.1	▲ 0.2	▲ 0.0	0.9	1.2	▲ 0.3	—	—
4~6	1.7	0.7	0.6	0.6	▲ 0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	▲ 0.1	0.0	1.0	1.2	▲ 0.2	—	—
7~9	1.7	0.5	0.5	1.0	▲ 0.5	0.1	▲ 0.1	0.1	0.1	0.0	▲ 0.0	1.1	1.5	▲ 0.2	—	—
10~12	2.0	0.5	0.3	0.7	▲ 0.8	0.1	0.2	0.2	0.3	▲ 0.1	0.0	1.4	1.8	▲ 0.3	—	—
2008/ 1~3	1.6	▲ 0.4	▲ 0.4	0.5	▲ 0.7	▲ 0.2	▲ 0.1	0.0	0.2	▲ 0.1	▲ 0.0	1.6	2.2	▲ 0.4	—	—

(注1) 民間在庫、公的在庫、外需の前期比、前年同期比はそれぞれ前期差、前年同期差。

(注2) 実績値は、基礎統計の追加、季節調整のかけ直しなどの要因により、内閣府公表の数値とは異なっている可能性もある。